

科目名(副題)	開講年次(セメスター)	単位	担当者名
多様性から考える 多様性 (Diversity) を通して日本社会の問題点を問う	2～4年次秋学期 (4・6・8セメスター)	2	渋谷 努/バルコウィッツ メリサン ダ/山脇 佳
科目ナンバリング			
Z1-INT-202-J			
授業概要・目的			
<p>同質的と見なされがちな日本社会の持つ多様性 (Diversity) に関わる諸問題について、各教員の専門分野を生かしながらオムニバス形式で授業を行う。扱う対象としては、文化やエスニシティに関わる問題、障害に関わる問題、ジェンダー／セクシュアリティに関わる問題を取り上げる。</p>			
学修到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>多様性(Diversity)に関する基本的な考え方を学び、それについて自らの考えを述べることができる。</li> <li>日本社会の多様性(Diversity)に関わる問題について自らの考えを述べることができる。</li> </ul>			
授業方法			
<p>すべての回を対面で実施します。 3人の教員がオムニバス形式で授業を行います。 この授業では、初回以外の授業ではディスカッションを中心としたアクティブラーニングを行います。具体的には、予習として多様性に関する課題(資料を読んだり、映像を見た上で取り組む)をしてもらい、それをもとにグループワークをします。授業前に課題を提出してもらいますので、事前に資料に目を通すようにしてください。毎回、いくつかのグループにグループワークの成果を報告してもらいます。 毎回、グループ分けを行います。 予習課題以外に、授業時資料を配布することがあります。</p>			
活用される授業方法			
成績評価方法・基準			
課題・レポート (100%)			
教科書・教材・参考文献 等			
<p>【教科書・教材】 適宜、授業中に指示します。 【参考文献】</p>			
質問への対応(オフィスアワー等)			
質問があればMANABOのメール機能を使って、質問してください。			
履修者へのコメント			
グループディスカッションを行うので、発言ができるとともに人の意見に耳を傾けられる人が受講することを望みます。			

事前事後学習
<p>予習として指示された資料（会話文ほか参考資料）を事前に読んだり見たりして、課題に取り組むことが必須です。事後学習の内容は授業時に指示します。事前事後学習には1時間以上が必要となります。</p>

科目名(副題)		開講年次(セメスター)	単位	担当者名
<p>多様性から考える</p> <p>多様性 (Diversity) を通して日本社会の問題点を問う</p>		2～4年次秋学期 (4・6・8セメスター)	2	渋谷 努/バルコウィッツ メリサン ダ/山脇 佳
授業計画				
No.	項目	内容		
1	イントロダクション	授業の進め方及びDiversityの基本的な考え方について		
2	エスニシティ・多文化と日本社会①	文化とは何か		
3	エスニシティ・多文化と日本社会②	食の場面から見えるグローバル化と日本文化について		
4	エスニシティ・多文化と日本社会③	宗教の多様性とそこから生じるコンフリクトについて		
5	エスニシティ・多文化と日本社会④	アイヌ民族の例から先住民族の権利について		
6	障害と日本社会①	障害？障がい？名づけについて		
7	障害と日本社会②	自立について		
8	障害と日本社会③	ショウガイのある人の家族・きょうだいについて		
9	障害と日本社会④	ケアの社会化について		
10	ジェンダー/セクシュアリティと日本社会①	同性婚：同性婚への賛成・反対の理由について		
11	ジェンダー/セクシュアリティと日本社会②	トランスジェンダーが日常生活で直面している問題について		
12	ジェンダー/セクシュアリティと日本社会③	性別に基づく不平等とその解決策について		
13	ジェンダー/セクシュアリティと日本社会④	性暴力について		
14	マジョリティの持つ特権	ゲストスピーカー		
15	まとめ・報告会	コンセプトマップ作成によるまとめと報告会		